報告

福岡商工会議所　新体制スタート

中小企業の新たなステージへの挑戦を後押しし、
福岡のまちの魅力を高めるために!!
「世の中の一歩先を行く福岡商工会議所」を目指す

▲(左から)津田副会頭、眞鍋副会頭、谷川会頭、川原副会頭、永江副会頭

新役員選任

当所は11月8日、第647回常議員会、第239回臨時議員総会、第648回常議員会をホテル日航福岡で開催した。役員の任期満了に伴う新役員の選任を行った。会頭には、谷川浩道氏（㈱西日本シティ銀行 代表取締役会長）が再任。副会頭には川原正孝氏（㈱ふくや 代表取締役会長）、眞鍋博俊氏（㈱博運社 代表取締役会長）、永江靜加氏（㈱インターナショナル エア アカデミー 代表取締役会長）、津田鶴太郎氏（津田ホールディングス㈱ 代表取締役社長）が再任された。また、監事には柴戸隆成氏（㈱福岡銀行 取締役会長）、林田浩一氏（西日本鉄道㈱ 代表取締役社長）、道永幸典氏（西部ガスホールディングス㈱ 代表取締役社長）の3氏、専務理事には松本恭子氏がそれぞれ再任されたほか、常議員40人が選任された。（4ページを参照）

第648回常議員会では、理事に猪野猛氏が再任され、参与に荻野典彦氏が再委嘱された。

▲常議員会、臨時議員総会

会頭・副会頭紹介（任期：令和5年11月9日～令和8年11月8日まで）

再任

会頭

谷川（たにがわ） 浩道（ひろみち）

㈱西日本シティ銀行
代表取締役会長

昭和28年生まれ、福岡県出身。昭和51年大蔵省入省、㈱西日本シティ銀行頭取を経て令和3年より現任。令和2年より当所副会頭、令和3年より会頭。東京大学卒。

再任

副会頭

川原（かわはら） 正孝（まさたか）

㈱ふくや
代表取締役会長

昭和25年生まれ、福岡県出身。昭和54年㈱ふくや入社、代表取締役社長などを経て平成29年より現任。平成28年より当所副会頭。甲南大学卒。

再任

眞鍋（まなべ） 博俊（ひろとし）

㈱博運社
代表取締役会長

昭和25年生まれ、福岡県出身。昭和51年㈱博運社入社、代表取締役社長を経て平成26年より現任。令和2年より当所副会頭。一橋大学卒。

再任

永江（ながえ） 靜加（しずか）

㈱インターナショナル
エア アカデミー
代表取締役会長

昭和29年生まれ、福岡県出身。昭和59年㈱インターナショナル スチュワーデスアカデミー設立（現㈱インターナショナル エア アカデミー）、代表取締役を経て、平成29年より現任。令和2年より当所副会頭。ケインズ英語学院卒。

再任

津田（つだ） 鶴太郎（つるたろう）

津田ホールディングス㈱
代表取締役社長

昭和37年生まれ。平成元年津田産業㈱入社、代表取締役などを経て平成29年より現任。令和3年より当所副会頭。西南学院大学卒。

退任副会頭

11月8日の第239回臨時議員総会で、忍田勉氏（㈱カンサイ 代表取締役会長）が副会頭を退任した。

忍田氏には副会頭在任中（令和2年11月14日～令和5年11月8日）、特に博多の伝統芸能の振興に力を発揮いただいた。コロナ禍においては、博多券番芸妓をはじめとする博多の伝統芸能団体を支援し、博多の伝統芸能を次世代に継承するべく、「はかた伝統芸能四季の舞」を2年間で計5回開催。また、今年12月2日・3日に4年ぶりの開催となる「第30回博多をどり」については、運営委員長として尽力いただいた。

役員名簿（任期：令和5年11月9日～令和8年11月8日まで）

令和5年11月9日現在

役員名	氏名	議員名	役職名
会頭	谷川浩道	株式会社西日本シティ銀行	代表取締役会長
副会頭	川原正孝	株式会社ふくや	代表取締役会長
同	眞鍋博俊	株式会社博運社	代表取締役会長
同	永江靜加	株式会社インターナショナル エア アカデミー	代表取締役会長
同	津田鶴太郎	津田ホールディングス株式会社	代表取締役社長
専務理事	松本恭子		
常議員	新井洋子	エントリーサービスプロモーション株式会社	代表取締役
同	石坂淳子	株式会社ひよ子	代表取締役社長
同	稲員英一郎	稲員興産株式会社	代表取締役
同	稲葉訓昭	有限会社アスク	代表取締役
同	岩崎成敏	岩崎建設株式会社	代表取締役社長
同	上田浩祐	株式会社アキラ水産	代表取締役社長
同	上村英輔	上村建設株式会社	代表取締役社長
同	大賀崇浩	株式会社大賀薬局	代表取締役社長
同	大坪潔晴	株式会社にしけい	代表取締役社長
同	粥川昌洋	株式会社極東フーズコーポレーション	代表取締役社長
同	河野孝雄	株式会社福住	代表取締役社長
同	久木元孝行	株式会社キューコーリース	代表取締役社長
同	熊川大祐	熊川工業株式会社	代表取締役
同	古賀佳代子	宗像陸運株式会社	代表取締役
同	兒玉直	株式会社データ・マックス	代表取締役会長
同	後藤信志	日本タングステン株式会社	代表取締役
同	後藤孝洋	新日本製薬株式会社	代表取締役社長CEO
同	小早川明徳	公益社団法人福岡県高齢者能力活用センター	理事長
同	坂本賢治	総合メディカル株式会社	代表取締役社長
同	貞刈厚仁	株式会社博多座	代表取締役社長
同	讃井勝彦	株式会社サヌイ織物	代表取締役
同	篠崎和敏	株式会社JTB	執行役員 ツーリズム事業本部 九州エリア広域代表
同	高丘利勝	西光建設株式会社	代表取締役社長
同	髙倉力矢	福高観光開発株式会社	代表取締役社長
同	田中隆臣	興和道路株式会社	代表取締役社長
同	徳島建征	株式会社トクスイコーポレーション	代表取締役社長
同	富永太郎	一般社団法人博多港振興協会	副会長
同	楢木隆	空研工業株式会社	代表取締役社長
同	野口宣夫	株式会社お花の太陽	代表取締役社長
同	野田太	株式会社ファビルス	代表取締役社長
同	花田公徳	西部ガスエネルギー株式会社	代表取締役会長
同	樋口元信	株式会社山口油屋福太郎	常務取締役
同	久野正人	久野印刷株式会社	代表取締役社長
同	正木研次	株式会社マルショウ	代表取締役社長
同	増田成泰	増田石油株式会社	代表取締役社長
同	丸小野光正	福岡大同青果株式会社	代表取締役社長
同	三好修	株式会社三好不動産	代表取締役
同	山口進	株式会社チヨダ	代表取締役
同	吉次正利	吉次商事株式会社	代表取締役社長
同	渡邉剛	渡辺鉄工株式会社	代表取締役社長
監事	柴戸隆成	株式会社福岡銀行	取締役会長
同	林田浩一	西日本鉄道株式会社	代表取締役社長執行役員
同	道永幸典	西部ガスホールディングス株式会社	代表取締役社長
理事	中芝督人		
理事・事務局長	猪野猛		

部会長・副部会長名簿（任期：令和5年11月1日～令和8年10月31日まで）

部会名	部会長名	副部会長名
食料・水産	徳島建征（株式会社トクスイコーポレーション）	石坂 淳子（株式会社ひよ子） 丸小野 光正（福岡大同青果株式会社）
建設	楢木隆（空研工業株式会社）	田中 隆臣（興和道路株式会社） 高丘 利勝（西光建設株式会社）
繊維ファッション	讃井勝彦（株式会社サヌイ織物）	稲葉 訓昭（有限会社アスク） 金古 嘉喜（協同組合福岡卸センター）
工業	後藤信志（日本タングステン株式会社）	久野 正人（久野印刷株式会社） 渡邉 剛（渡辺鉄工株式会社）
エネルギー	増田成泰（増田石油株式会社）	花田 公徳（西部ガスエネルギー株式会社）

部会名	部会長名	副部会長名
運輸・港湾・貿易	古賀佳代子（宗像陸運株式会社）	安川 哲史（一般社団法人福岡市タクシー協会） 富永 太郎（一般社団法人博多港振興協会）
卸売商業	野口宣夫（株式会社お花の太陽）	山口 進（株式会社チヨダ） 上田 浩祐（株式会社アキラ水産）
小売商業	後藤孝洋（新日本製薬株式会社）	正木 研次（株式会社マルショウ） 大賀 崇浩（株式会社大賀薬局）
観光・飲食	髙倉力矢（福高観光開発株式会社）	粥川 昌洋（株式会社極東フーズコーポレーション） 篠崎 和敏（株式会社JTB）
理財	久木元孝行（株式会社キューコーリース）	稲員 英一郎（稲員興産株式会社） 河野 孝雄（株式会社福住）
情報・文化・サービス	新井洋子（エントリーサービスプロモーション株式会社）	大坪 潔晴（株式会社にしけい） 貞刈 厚仁（株式会社博多座）

谷川会頭 所信表明（要旨）

▲記者会見で所信表明を述べる谷川会頭

第239回臨時議員総会で、会頭に選任されました谷川でございます。同じく選任された４人の副会頭、常議員、専務理事とともに、引き続き、会員や地域の皆さまの期待に応えられるよう努めてまいります。

これからの３年間、「中小企業の新たなステージへの挑戦を後押しすること」、「福岡のまちの魅力を高めること」の２点に注力してまいります。そのためにも、**「世の中の一歩先を行く福岡商工会議所」**を目指します。

変化の激しい時代、社会経済環境が日々変わる中、企業が成長するには、新たなステージへ向けて挑戦せねばなりません。それら企業の挑戦を支援するためには、私たち商工会議所自身が、一歩先を見据え、挑戦をし続けなければなりません。

―中期方針の３つのポイント

来年４月、福岡商工会議所の新たな中期方針がスタートします。その新たな中期方針策定に向けて、３つのポイントを上げます。

①取引適正化の推進

一つ目は、目下の最重要課題である「取引適正化」を徹底して推進することです。例えば、「パートナーシップ構築宣言」企業の飛躍的な増大です。「取引適正化」は、日本企業に巣食う、自社の利益だけを重んじ「買いたたき」を是とするという考え方を淘汰し、「価値ある物をそれに見合った適正な価格で取引する」というかつての日本が有していた企業文化を改めて日本に根付かせようとするものです。決して容易なことではありませんが、これを徹底していくことが大切です。

②中小企業の自己変革の後押し

二つ目は、中小企業の「自己変革」の後押しです。特に、デジタル化・DXの推進は、生産性向上に欠かせないものであり、失われた30年を取り戻すためにも、私たちが真剣に取り組まなければならない課題です。会員企業がそうした努力を通じて地域経済を牽引する元気な企業へと成長していくよう、後押ししてまいります。

③「歴史・文化を活かしたまちづくり」の行動開始

三つ目は、「歴史・文化を活かしたまちづくり」に向けた進撃の開始です。福岡に住む人、これから福岡で生まれ育つ人の心に、郷土に対する愛情や誇りを醸成していくことが大切です。そうした心の問題を街づくりに繋げていくことで、福岡・博多を市民が心豊かな、誇りを持てる街にしていくことができると思います。また、その結果として、地域外からも多くの人々が訪れる魅力的な街に生まれ変わらせることができると思います。

―商工会議所の組織基盤の強化

こうした活動を推進するためには、商工会議所の基盤の強化が欠かせません。

変化の激しい時代に、商工会議所が果たすべき役割はますます大きく、かつ専門性が求められるようになっています。「会員で良かった」「これからも会員であり続けよう」と思っていただけるよう、会員の皆様とコミュニケーションを図り、充実した事業・サービスを提供してまいります。事務局自身の業務効率化やレベルアップを図ります。

２期目となる今後も、「行動する、役に立つ、信頼される」商工会議所の実現に向けて、全力を尽くす所存でございます。

▲記者会見の様子

お問い合わせ / 総務・人事グループ　TEL：092-441-1110